

文化財興味持つ契機に

最新の科学技術が、文化財の保存・研究や展示の在り方に変化をもたらしつつある。記事にはそう書いてあります。今の技術を使えば、本物の質感まで再現したクローン文化財を作り出したり、仏像を解体しなくても内部の詳細まで透視できたり、これまでありえな



かしきりの
榎木 梨乃さん
(科学技術高1年)

文化財研究 新ステージ
緻密再現や透視 科学技術で可能に

取得データ活用が課題

最新の科学技術が、文化財の保存・研究や展示の在り方に変化をもたらしつつある。記事にはそう書いてあります。今の技術を使えば、本物の質感まで再現したクローン文化財を作り出したり、仏像を解体しなくても内部の詳細まで透視できたり、これまでありえな

私は、この技術を使えば、世界中の文化財を傷つけたり、劣化させたりせずに保存し続けることが可能になるのも近いと思います。私たち若者は、文化財について多くの知識を持っている人は少ないと思います。ですが、クローン文化財を実際に触り、見ることでできなかったところまで見ることができると、興味がわく人も多いと思います。

私はこの記事を読み、実際に触ってみたいと感じましたし、新しい技術を使って、意外なことをさらに発見してほしいと思いました。